

きたひろしま 議会だより



主な内容

平成30年度補正予算	2～3
計報・伊藤久幸議長	2
あの問題は今	3
議案審議の結果	4～5
特集・豊平病院問題討論	6～7

一般質問一覧	7
一般質問 町政をただす	8～14
視察報告	15～17
議会報告会	18～19
意見書、表紙の説明、あとがき	20

vol.
55
2019.2.1

補正予算

一般会計

7億8000万円増額

(総額166億1000万円)

特別会計

1億4500万円減額

(総額76億8250万円)

12月定例会が12月7日から12月19日までの13日間にわたり開催されました。

提出された23議案については全て原案どおり可決され、6件の陳情審査についても採択、3件の発議も原案可決となりました。

今回の議会では北広島町豊平病院を無床診療所とする議案があり、連日多くの傍聴者が来られる中、最終的には附帯決議も提出されるなど白熱した議論が展開されました。(P 6～7 参照)

一般会計は今回の補正にて総額166億1000万円に。昨年度より10億2700万円ほど少ないとはいえる、北広島町にとって大きな額です。平成29年度の実質公債費比率(収入に対する借金の割合)が15.9%と県内23市町で下から2番目となっている現状において、より一層の歳出抑制が必要と思われます。

小・中学校教育施設等への エアコン設置整備事業 3億9074万円



全国的に発生した異常な猛暑に伴い、本町学校施設についても室内温度の上昇が生じた。熱中症防止等の安全対策として、教室や給食調理場等にエアコン整備を行い、教育環境の改善に努める。文部科学省の平成30年度第1次補正予算、学校施設環境改善交付金大規模改善(空調)事業を活用し、平成31年5月からエアコン設置工事を着工する。

町道除雪委託料の追加 1億3500万円

道路維持修繕事業として、昨年と同様この冬季積雪時の町内生活道路等への安全確保として追加。



伊藤久幸議長が昨年12月28日にご逝去されました。議員一同、深く哀悼の意を表しますとともに、伊藤議長のご冥福を心からお祈り申し上げます。



訃報

伊藤
久幸
議長

【一般会計】 主な内容

事業名	補正額(万円)
県議会議員選挙費	102
新規定住者住宅建築補助金	800
国民健康保険基盤安定操出金	439
老人ホーム入所委託料	528
地域子育て支援事業委託料他	554
認定こども園施設型給付費負担金他	957
豊平病院補助金	1億0000
介護保険特別会計操出金	914
多面的機能支払交付金	1452
町道除雪委託費	1億3500
道路新設改良事業費	▲2610
橋りょう維持修繕事業	2310
農林水産施設30年災害復旧事業	5008
消防運営事業	1058
学校工アコン整備工事請負費	3億9074
人事院勧告に伴う給与改定 および異動や時間外手当など	2053

【特別会計】 主な内容

事業名	補正額(万円)
《下水道事業》 下水道新設事業	▲1億9986
《介護保険》 地域密着型介護サービス給付費 介護予防サービス給付費・計画費	1900 1900
《情報基盤整備事業》 伝送路保守委託費	821
《後期高齢者医療》 広域連合負担金ほか	455
《その他》 人事院勧告に伴う給与改定 および異動や時間外手当など	▲295

あの問題は

今!!

北広島町水道事業、簡易水道事業は、平成19年度に千代田地域の料金改定及び芸北・大朝・豊平地域の料金を統一。平成28年度に全町の水道料金を統一して以来、料金の見直しはしていない。

「水道料金算定期領では概ね将来の3年から5年を基準とする」ことから、今後も安定した水の供給を行う水道事業を継続していくために水道料金等検討委員会を設置し、水道事業の運営と水道料金のあり方について検討の結果、この度の料金改定になつた。

12月補正予算4518万円が可決され、平成30年度豪雨災害復旧に係る予算は5億4千万円となりました。災害復旧工事は災害年を含め原則、3年間で完了しなければならない。

平成29年発生災害復旧工事発注率で、農林関係施設は100%だが、土木関係は83%である。平成30年発生災害についても順次計画的に発注していく。

災害復旧工事



水道料金改定

賛成・反対一覧表

○ 賛成 ● 反対 - 欠席

不一致① 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

不一致② 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	可決

不一致③ 北広島町給水条例の一部を改正する条例

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

反対討論 美濃孝二 庶民に負担重く、企業に軽い

庶民の値上げ率を高く、大口利用者は大幅に低くしている。年金や給与は上がらないのに、物価高のなか、生き

ていくために欠かせない庶民の水道料金を大幅に引き上げれば、暮らしは苦しくなるばかり。さらに来年には消費

税増税。企業にも適切に負担してもらい、庶民の暮らしを守るため、見直しを。

不一致④ 北広島町豊平診療所設置及び管理に関する条例

特集 P. 6~7

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
●	●	○	○	○	●	●	○	●	○	●	○	○	●	○	可決

不一致⑤ 指定管理者の指定について(北広島町豊平診療所)

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

不一致⑥ 一般会計補正予算(第4号)

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	○	○	可決

反対討論 梅尾泰文

歳出の諸支出金のところで、豊平病院会計補助金として一般財源から1億円繰り出すと補正予算が組まれ提案されている。指定管理料として3年間で7億5400万円の債務負担行為をし

てそれも上限すべてを支払った。債務負担行為はそれ以上支出できないものであり、補正予算から支払うということにしたようであるが、ずいぶん乱暴な方法を考えたものだと思う。町内に

は指定管理の施設は多くあるが、利益が上がっても上がらなくても決めた金額で請け負ったらその金額の上乗せはない。豊平病院だけ特別なものではない。とても納得がいくものではない。

不一致⑦ 豊平病院事業会計補正予算(第2号)

濱田	美濃	真倉	湊	敷本	森脇	宮本	山形	亀岡	梅尾	室坂	服部	伊藤淳	中田	大林	審査結果
○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	可決

反対討論 梅尾泰文

指定管理者に対する債務負担行為の額は3年間で、7億5400万円で契約している。その金額もそれは上限であってそれをすべて使い切らなくても

いいものである。それを使い切って赤字が出るかもしれないという予想に立って1億円一般会計から繰り入れるというもの。昨年の決算書からみてもそ

の金額に匹敵する金額ではない。使わなかったら返してもらうといわれるが、予算とはそんなにいい加減なものではない。よってこの議案には反対をする。

平成30年12月定例会 議案審議の結果

審議日程	議案・提案・発議名	全員一致	不一致	結果	質疑討論
12月19日 (定例会)	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		●	可決	不一致①
	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例		●	可決	不一致②
	北広島町手数料条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町税条例の一部を改正する条例	○		可決	
	農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例	○		可決	
	北広島町地域再生法に規定する地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例	○		可決	
	北広島町給水条例の一部を改正する条例		●	可決	不一致③
	北広島町豊平診療所設置及び管理に関する条例		●	可決	不一致④
	指定管理者の指定について(北広島町豊平診療所)		●	可決	不一致⑤
	広島県市町総合事務組合規約の変更について	○		可決	
	財産の無償貸付について(雄学館・同給食室)	○		可決	
	工事請負契約の変更について(上草田ため池災害復旧工事／工期延長)	○		可決	
	一般会計補正予算(第4号)		●	可決	不一致⑥
	国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	介護保険特別会計補正予算(第3号)	○		可決	
	電気事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	診療所特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	情報基盤整備事業特別会計補正予算(第2号)	○		可決	
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○		可決	
	水道事業会計補正予算(第2号)	○		可決	
	豊平病院事業会計補正予算(第2号)		●	可決	不一致⑦

審議日程	請願・陳情	請願陳情者名	全員一致	不一致	結果 上：陳情 下：発議	不一致 質疑討論
12月19日 (定例会)	平成30年度北広島町行政施策に対する要望書	北広島町商工会建設業部会 部会長 郷田 勝弘	○		採択	
	平成31年度理科教育設備整備費等補助金予算増額計上についてのお願い	公益社団法人日本理科教育振興協会 会長 大久保 昇	○		採択	
	北広島町立の小学校・中学校空調設備設置に関する要望書	北広島町PTA連合会 会長 河野 靖彦	○		採択	
	信号機設置に係る陳情書	大朝地域協議会 会長 平田 義孝 ほか 10名	○		採択	
	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める請願書	広島県医療労働組合連合会 執行委員長 富永 みち子	○		採択	全文は P.20
	平成31年度経営改善普及事業費等補助金交付要望書	北広島町商工会 会長 砂原 正則	○		採択	
	発議	提出者	全員一致	不一致	結果	不一致・質疑討論
	岩国基地所属米軍機の墜落事故の原因究明と再発防止策が講じられるまで同型機の飛行停止を求める意見書	北広島町議会議員 美濃 孝二 賛成者 ほか 2名	○		可決	全文は P.20
	北広島町豊平診療所設置及び管理に関する条例に対する附帯決議	北広島町議会議員 宮本 裕之 賛成者 ほか 5名	○		可決	

豊平診療所設置及び管理に関する条例について

現在の豊平病院は、医療法人齊和會が指定管理を受けています。この指定管理は、平成28年度より3年間を期限としています。

今回の論点のきつかけであり、大事な論点は豊平病院で働く看護師の約半数が北広島町雇用であり、指定管理期限の平成31年3月末で北広島町雇用の看護師は豊平病院から引き上げるということでした。つまり、4月からは指定管理者が独自に豊平病院経営に必要な看護師を用意する必要があつたのですが、昨年9月にこれが難しいという結論が出ました。そのため、北広島町は入院もできる有床診療所という形以外に、入院のできない無床診療所という案を出しました。

これは、現在の財政規模では今後も豊平病院の財政を賄えないという心配からです。豊平病院にはこの3年間で7億5400万円の費用が投じられています。

町は以上の理由などにより、豊平の地域医療を守るためにも町内外の医療機関に打診をしました。その結果、将来的に地域医療を守れる形態として「無床診療所」としての方針を打ち出しました。

反対討論

美濃孝一

賛成討論

敷本弘美

条例守らぬ議会無視、医療難民だす
恐れ

「住民に理解してもらつていない」
のに強行し、議会との二元代表制も
踏みにじっている。交通問題も診察
体制も未確定で、県も「安心なしに
無床は考えられない」と危惧。この
まま無床診療所になると将来に医療
を残すどころか現在の医療を壊し、
医療難民をつくりだす恐れがある。

近年激減している有床診療所、有
床診療所にしたが一年もたず無床診
療所に転換した事例も多々ある。今
後中山間地域での医療存続を考え
とき「病院完結型」から地域全体で
支える「地域完結型」の医療へ転換
することが大事だ。身近な地域で医
療・介護サービスが受けられる体制
を整え、住み慣れた地域で暮らし続
けることができる診療所の形態に賛
同。今後入院患者、職員の意向に誠

反対討論

室坂光治

町内外9265人の署名をいたしました。町長はその思いを無駄にしないでいただきたい。現在の豊平地域の地域医療を守るために、無床診療所の条例に反対です。

賛成討論

梅尾泰文

今議会は豊平病院議会といえるくらい豊平地区の地域医療をどう守つていくかという議論が多く出された。私も一般質問で豊平病院の現状と今後について住民に理解されるような説明を求めた。

3年間の指定管理料7億5400万円も使い切った中で、今後もこれまで同様の形態で病院や有床診療所を運営することは大所高所に立つて判断すると難しい。また、約80人の病院職員の今後の就業の確保も考えなくてはならない。早く方針を出して次に取り掛かるためにも結論を出す必要に迫られている。したがって今回提案されている無床診療所化に賛成をする。

反対討論

亀岡純一

豊平病院を無床診療所にする議案は、町財政の現状等、時代の流れのなかで方向性は間違っているとは思

意を持ち対応し、全国の模範となる中山間地域の診療所となるよう心血を注ぐことを申し入れ賛成とする。

わざわざ、その決断と公表の過程において地元住民への十分な説明とそれに対する理解や安心感が得られない。町民として当たり前に受け取ることができる行政サービスがない。町民として当たり前に受け取ることができる行政サービスが、町の財政状況を理由に、簡単に切り捨てられていくように感じられ、これいきたい。現在の豊平地域の地域医療を守るために、無床診療所の条例に反対です。

温かい血が流れ、心が通い、温もりが感じられる方策を求める、さらなる努力が必要である。

賛成討論

山形しのぶ

町民の皆さんからの言葉一つひとつに、せめて有床の診療所を残すべきではないか。ここまで反対意見が多い中進めるのは本当にいいのだろうか。と考えました。そして、大きな決断をすべき責任も重く感じています。

しかし、この度決断しなければ3年後はどうなるのだろうか。有床診療所として経営を進め3年後に経営が難しくなった時に、その時に新たな指定管理者が名乗り出なかつたら、まさに豊平に医療機関がなくなってしまうことがあります。

この度の大きな決断は、本当に苦渋の決断です。「豊平の医療を守るために」に私は賛成します。

特集 豊平病院

反対討論

濱田芳晴

新しい機械や手術室の整備などに
より診療科目も増え、入院患者も増
えていく中、私は無床診療所にする
議案に反対します。

適正規模をオーバーした豊平病院
の今までの在り方には、以前に賛成
した私も自問自答しました。しかし、
3年間で結果を出すのは無理があつ
たと思います。今回の指定管理者は
介護中心の考え方であります。その
ため、私は最後まで反対を求めてい
きます。

賛成討論

大林正行

現病院の継続は、看護師の確保と
医業収支の改善が難しいため現実的
でない。有床診療所への移行提案は、
一つは計画が十分検討されておらず、
途中で撤退する可能性がある。もう
一つは、2～3年で無床の診療所に
移行するものであり妥当でない。
町の提案は、1階を無床の診療所、
2階を介護施設とし、指定管理料は
0円である。医療と介護の一体的運
営は地域に夢と希望を与え、豊平地
域の医療を将来にわたって存続でき
るため賛成である。

決していく「地域協働」に大きな支
障になるため反対する。

賛成討論

伊藤 淳

まず、豊平の医療施設がなくなら
ないことを伝えます。重複する「看
護師の人材確保」と「財源の適正規
模」については省略します。
反対討論では若者世代のために内
科の充実を挙げていました。しかし、
若者世代であれば産婦人科や小児科
を求めるべきと考えます。

北広島町のどの地域にもすべての
診療科目があることは理想ですが、
それは難しいです。今からは、町全
体のバランスを考えなければなりま
せん。ゆえに、町全体で医療の充実
を目指すべきと考えます。

反対討論

森脇誠悟

地域の人達が納得されていない無
床診療所への移行は、行政不信を招
き、行政と地域住民が地域課題を解
きます。

中田節雄

公立病院は、主には民間病院の立
地が困難なへき地等における医療を
担つており、赤字事業となりやすく、
本町においても例外ではありません。
本町の厳しい財政状況から、国が示
している公立病院の更なる経営効率
化、再編・ネットワーク化等を基に、
町長は覚悟の決断をされました。
しかし、地域住民が理解し合える
ように、もう少し時間をかけて、丁
寧な説明や住民議論をすることが必
要であり、本議案には時期尚早とい
う理由で反対とします。

反対討論

濱田芳晴

一般質問

14議員が町政をただす

一般質問の順番と質問項目

質問時間30分、質問回数は制限なし。

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
8	湊俊文	①豊平病院について ②JICAボランティア経験者の採用について	11	山形しのぶ	子ども達の夢を育む北広島町の学校教育について
8	中田節雄	豊平病院を有床診療所として存続を	12	伊藤淳	①時間外勤務削減のためRPA導入の検討を ②防災無線の方針とデジタル環境の充実について
9	服部泰征	①情報通信環境の改善を ②北広島町の就労環境について	12	宮本裕之	①指定管理者制度の課題と今後の在り方について ②北広島町障害者福祉計画を問う
9	梅尾泰文	①千代田インターの高速バス利用の実態と改善は ②豊平病院の現状と今後は	13	真倉和之	①中高一貫教育について問う ②小学校、中学校の不登校・いじめについて
10	亀岡純一	①町内の森林有効利用について ②子供の生活実態と家庭教育支援について ③住民生活に係わる諸問題について	13	美濃孝二	①豊平病院は有床診療所にして医療難民をだすな ②庶民には重い負担の水道料金値上げの見直しを
10	大林正行	経費の削減に向けた取り組みを問う	14	敷本弘美	①児童・生徒の通学バスについて ②豊平地域の地域医療構想について
11	室坂光治	豊平病院を存続する町民の願いを問う	14	濱田芳晴	次世代について考える パート26

湊 俊文議員



豊平病院の無床診療化について

広域医療連携で豊平地域の医療を守る

豊平病院の無床診療化について、取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

下地区にできる新しい安佐市民病院の地域救命救急センターと連携を深めたり、地元住民の痛みを和らげ、住民の不安を取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

住民説明会で交通アクセス整備の要望があり形態転換に併せて、診療所始発で豊平千代田線の南回り、午前1便、午後1便、本地経由により千代田地域の病院へ通院・見舞いに行ける交通機関を確保する。安佐市民病院等から退院し、すぐ自宅へ帰ることが不安な時など、低料金で宿泊できる施設を確保する。また診療所で受診した患者で、すぐに入院が必要な場合は適切な医療が受けられる病院に搬送する体制を整える。急救については、これまで受診した患者で、すぐに入院が必要な場合は適切な医療が受けられる病院でどおり。休日の在宅当番医は引き受ける。高度急性期の医療は荒てどおり。

下地区にできる新しい安佐市民病院の地域救命救急センターと連携を深めたり、地元住民の痛みを和らげ、住民の不安を取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

下地区にできる新しい安佐市民病院の地域救命救急センターと連携を深めたり、地元住民の痛みを和らげ、住民の不安を取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

下地区にできる新しい安佐市民病院の地域救命救急センターと連携を深めたり、地元住民の痛みを和らげ、住民の不安を取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

下地区にできる新しい安佐市民病院の地域救命救急センターと連携を深めたり、地元住民の痛みを和らげ、住民の不安を取り除く環境整備について丁寧な説明を求める。救急対応や広域連携で地域医療包括システムの充実、高齢者が通院等で公共交通網の整備、公共交通網の改善等の施策はあるか。

中田節雄議員



豊平病院を有床診療所として存続を

医療の拠点として、広域的に医療を確保

豊平病院を有床診療所として存続を。地域の医療を守つていくことに政治生命を懸ける。

豊平病院を有床診療所として存続を。地域の医療を守つていくことに政治生命を懸ける。

豊平病院を有床診療所として存続を。地域の医療を守つていくことに政治生命を懸ける。

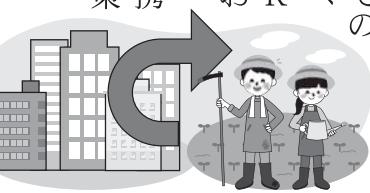
豊平病院を、無床診療所に移行する準備が進められているが、病院は安全・安心を確保する身域を支えている。無床化することは、地域振興の面からもマイナス要素が大きく、有床診療所とするべきではないか。

豊平病院を、無床診療所に移行する準備が進められているが、病院は安全・安心を確保する身域を支えている。無床化することは、地域振興の面からもマイナス要素が大きく、有床診療所とするべきではないか。

豊平病院を、無床診療所に移行する準備が進められているが、病院は安全・安心を確保する身域を支えている。無床化することは、地域振興の面からもマイナス要素が大きく、有床診療所とするべきではないか。

豊平病院を、無床診療所に移行する準備が進められているが、病院は安全・安心を確保する身域を支えている。無床化とは、地域振興の面からもマイナス要素が大きく、有床診療所とするべきではないか。

豊平病院を、無床診療所に移行する準備が進められているが、病院は安全・安心を確保する身域を支えている。無床化とは、地域振興の面からもマイナス要素が大きく、有床診療所とするべきではないか。





服部泰征議員

情報通信環境の改善を

民間移管も視野に入れ研究していく

問 障害者雇用の状況は。

答 総務課長

障害者雇用率は平成30年6月1日時点ですべての障害者手帳の原本または複数枚にて確認している。法定雇用率は超えていたが、促進していきたい。

問 障害者雇用の状況は。

答 総務課長

障害者雇用率は平成30年6月1日時点ですべての障害者手帳の原本または複数枚にて確認している。

問 北広島町の就労環境について

答 町民課長

在留資格者は平成30年11月末現在、490名。

問 外国人労働者の現状と支援体制は。

答 町民課長

在留資格者は平成30年11月末現在、490名。

問 北広島町の就労環境について

答 総務課長

障害者雇用率は平成30年6月1日時点ですべての障害者手帳の原本または複数枚にて確認している。

問 情報通信環境の改善を民間移管も視野に入れ研究していく

答 総務課長

整備が求められてくるが、現行のシステムでは対応に限界がある。

問 情報通信環境の改善を民間移管も視野に入れ研究していく

答 総務課長

整備が求められてくるが、現行のシステムでは対応に限界がある。

問 状と今後は。

答 総務課長

サービスを開始して10年を経過している状況で、各種機器の更新・保守についてかなりの必要性が出ている。

問 きたひろしまネットの現状と今後は。

答 総務課長

サービスを開始して10年を経過している状況で、各種機器の更新・保守についてかなりの必要性が出ている。

問 きたひろしまネットの現状と今後は。

答 総務課長

サービスを開始して10年を経過している状況で、各種機器の更新・保守についてかなりの必要性が出ている。

問 ハローワーク広島等では生涯現役支援窓口が設置されている。また北広島町シルバー人材センターにおいて各種講習や雇用促進等が行われている。

問 生活保護や児童扶養手当受給者の就労は。

答 福祉課長

平成30年10月末現在、生活保護は64世帯、児童扶養手当受給は113世帯で、このうち就労されているのは生活保護15世帯、児童扶養手当103世帯となっている。生活実態を探りながら、支援を行っていきたい。

問 生活保護や児童扶養手当受給者の就労は。

答 福祉課長

平成30年10月末現在、生活保護は64世帯、児童扶養手当受給は113世帯で、このうち就労されているのは生活保護15世帯、児童扶養手当103世帯となっている。生活実態を探りながら、支援を行っていきたい。

問 高速バス利用者が多いが、乗れない人はいないか。

問 高速バス利用者が多いが、乗れない人はいないか。

問 あるかどうか。バスセンターに設置されている看板を参照するとわかるが、千代田で一気に上がりついている。根拠は。

問 あるかどうか。バスセンターに設置されている看板を参照するとわかるが、千代田で一気に上がりついている。根拠は。

梅尾泰文議員

千代田ICの高速バス利用 実態と改善は

今後バス会社に要望する

問 バス料金が運行時間と連動していないよう

答 企画課長

深刻な乗務員不足であり、増便できない。今後時刻変更、定員数の多い車両への変更等、検討したい。

問 バス料金が運行時間と連動していないよう

答 企画課長

深刻な乗務員不足であり、増便できない。今後時刻変更、定員数の多い車両への変更等、検討したい。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 乗れなかつた人から増便の希望が出ていると思うがどうか。

問 かつての運賃体系はそうであつても、今後公共交通機関の運賃体系に変更されるようバス会社と協議されてみては。

問 かつての運賃体系はそうであつても、今後公共交通機関の運賃体系に変更されるようバス会社と協議されてみては。

問 9月は1便、10月は2便17人乗れなかつた。三次発の広島方面行き。

問 9月は1便、10月は2便17人乗れなかつた。三次発の広島方面行き。

問 かつては同一区間（出発と到着）の異種運賃は認められなかつたため既存のバス運賃で調整していった。それを現在も引き継いでいる。

問 かつては同一区間（出発と到着）の異種運賃は認められなかつたため既存のバス運賃で調整していった。それを現在も引き継いでいる。



バスセンターに設置されている看板

亀岡純一議員



家庭教育支援条例の策定を

研究をしていきたい

問 **教育長** 地域の人材を活用して学校と地域がお互いに連携し合い協力すると考えている。条例の制定については今後、各課で連携

問 **教育支援について** 家庭教育を支援するための施策としての家庭教育支援条例策定を提案する。町としての所見は。

芸北オーケガーデンの温泉施設における木質バケツ登録を行った。1年間のCO₂排出量のモニタリングを実施し、Jクレジットの認証申請を行い、認証委員会で、本年10月9日付けで認証を受けて

問 **町民課長** 町内の森林有効利用についてJクレジット制度活用の実績と、今後の方針をどう考えているか。

問 **保健課長** 町としては最大限の努力をしてきたが、経営の観点が不足していたとい

問 **4町合併以来、病院に対する町の経営努力は。**

問 **教育長** 地域の人材を活用して学校と地域がお互いに連携し合い協力すると考えている。条例の制定については今後、各課で連携

問 **教育支援について** 家庭教育を支援するための施策としての家庭教育支援条例策定を提案する。町としての所見は。

問 **企画課長** 路線バスには、旧町間の移動や通学を担う機能を持たせ、それを補完するのがホープタクシー。普通のタクシーとは違つた乗り合い区域限定の運行手段である。

住民生活に係わる諸問題について

し研究をしていきたい。子どもたちの実態を考えるとこれが必要だとう考えを持っているが、教育委員会のみで決定することではないので、いろいろな所と協議をして取り組んでいきたい。



大林正行議員

補助金、委託費削減の取組は

職員のスキルアップで削減に取り組む

問 **企画課長** 将来は、職員でファシリテーター役ができるようスキルアップを図っていく。

問 **消防長** 無線免許申請は、職員が実施してはどうか。

問 **4町合併以来、病院に対する町の経営努力は。**

問 **企画課長** 来年度から段階的に自前の作成にシフトする。

問 **財政課長** 財務諸表は、職員で作成してはどうか。

問 **総務課長** 見直しの方向で検討する。

子や孫の代に「負の遺産」を残さないために、財政の健全化を進めていく必要があるので、経費の削減について質問する。

る町民は一部の人間に限られている。プレミアムのつかないユートに変更し、町からの各種補助金をユートで支払うようとしたらどうか。

また、地元商店で利用できる商品券としてユートを発行すれば町内の消費が増加すると思うが。

問 **商工観光課長** プレミアムのつかないユートは、現在一部の補助金に支払っている。拡大できるか調査を進める。商品券は検討する。

問 **財政課長** 条例などで交付内容が明確な補助金を除き、一旦補助金を廃止し、再申請させ精査したうえで交付してはどうか。

問 **財政課長** すべてを廃止し新たに精査したうえで補助金を交付する。





室坂光治議員

豊平病院を存続する町民の願いを問う

無床診療所体制にするための決断

問 9月27日付の新聞に豊平病院の入院機能を廃止し無床診療所にする考え方を明らかにされた。財政が厳しいと言われる中、言われているがあまりに残念だ。豊平地域は高齢者が多く、豊平病院を存続したいと願っている町民は圧倒的に多い。地域医療を守るためにも、現状維持が難しいのなら多少規模は小さくしてでも絶対に豊平病院は置いていただきたい。

答 町長 豊平地域の医療機関・地域医療を守っていく医療機関は残していくかなくしてはならないと考えているが、中山間地域の医師不足が深刻化しており、医療体制を確保するための勤務医・専門外来の医師・看護師などの医療スタッフの確保について、財政支援などの積極的な措置を講じる要望はしている。今の状況の中で豊平地域の医療を今後残している。

19床は残すべきと願つてるので、強く求める。

答 副町長 豊平病院が診療所に形態変更しても、引き続き外来診療・リハビリ等についても継続していく、豊平地域の開業施設等とも連携した医療と介護、住まいや生活支援といった、高齢者を支えるサービスを一体的に提供できる体制をとっていく。この町長の決断は豊平の医療を守つていくための形態変換なので、ご理解いただきたい。

答 副町長 いくためには、無床診療所という選択肢しかないと考えている。また、例えば安佐市民病院を退院したが独り暮らしのため自宅へ帰るのが不安という方には「生活支援ハウス」というものを設置して、そこに泊まつてもらうことを実施していく予定。

答 教育長 の円滑な連携はもとより、保健課・福祉課・医療機関、地域の皆様と学校がしっかりと連携を図りながら、子ども達の成長を見守る体制を充実させる。子ども達が自分の居場所というものを確立し、自分に自信を持ち、安心して学べる環境を整える。一人ひとりの児童・生徒のおかれている状況を理解し、それに応じた支援の手立てを投げる。

答 教育長 不登校児童・生徒に対する取り組みは、

いじめを見逃さないことを第一に、積極的に子どもに関わる。一人で抱え込まず、組織として早期対応していく。

答 教育長 小中学校職員の心のケアは、

いじめを見逃さないことを第一に、積極的に子どもに関わる。一人で抱え込まず、組織として早期対応している。

答 教育長 ふるさと夢プロジェクトを始め、子ども達のふるさとの思いに変化はない。

将来北広島町に住みたいという項目では、年齢が低

山形しのぶ議員

夢を育む北広島町の学校教育について

「体徳知」を大切に教育活動を進める



問 ふるさと夢プロジェクトを始め、子ども達のふるさとの思いに変化はない。

答 教育長 将来北広島町に住みたいという項目では、年齢が低

問 フリースペースやフリースクールの考えは。

答 教育長 学校以外でも学びの場を提供し、学校復帰に向けての支援を行うフリースクールを一つのケースとして視野には入れている。設置については踏み込んでいないが、必要性はあると感じている。

答 教育長 ふるさと夢プロジェクトを始め、子ども達が元気であることが一番と見える。しっかりと豊かな心を持って生活し勉強する。就任以来「体徳知」と言っている。子ども達が将来ふるさとが好きと帰ってくるように、ふるさと夢プロジェクトを続け、教育委員会・学校・地域の皆様の理解を受け、教育活動を進めていきたい。

答 教育長 町内の校長研修会、教頭研修会等で、教職員の健康状態を把握し、コミュニケーションを図ると共に、相談体制をつくるように指導している。

答 教育長 北広島町の学校教育の今後について教育長の考えを問う。

答 教育長 ふるさと夢プロジェクトを始め、子ども達が元気であることが一番と見える。しっかりと豊かな心を持って生活し勉強する。就任以来「体徳知」と言っている。子ども達が将来ふるさとが好きと帰ってくるように、ふるさと夢プロジェクトを続け、教育委員会・学校・地域の皆様の理解を受け、教育活動を進めていきたい。

伊藤 淳議員



防災無線の検討の目途は

年度末に回答を出す

時間外勤務削減のためR
PA導入の検討を

答 総務課長

RPAとはパソコン上で行う業務を自動で行ってくれる技術である。

職員の業務の削減に有効度の理解と検討をしていられるか。

一堂に会することは難しいので、メールなどで呼びかけをしている。

防災無線の方針とデジタル環境の充実について

答 総務課長

検討をしていく段階ではない。しかし、事務作業に有効な技術の一つと認識し、先進自治体を参考していく。

現在のアログ方式の防災無線が一旦廃止という方針が出た後、デジタル方式の防災無線の検討が始まった。デジタル方式はそんなに新しい技術ではない。方針転換の背景と経緯は。

答 危機管理課長

豪雨災害があり、様々な方法を検討している。

答 危機管理課長

デジタルであれば、きたひろネットとの連動が可能か。

日進月歩の技術革新があり、業務の負担軽減がある。どのように技術を取り入れて、技術情報を共有しているか。

答 総務課長

各課で専門技術は取り入れている。全体で共有するかどうかは方向性が出てからにしている。

問 今回、RPAのこと

答 総務課長

情報を電算係は知つていて、総務課では共有さ

れたが、総務課では共有されてなかつた。情報の共有方法について疑問が残つた。全職員で情報共有

をすることがあるのか。

答 危機管理課長

可能である。

現在は可能と聞いてい

宮本裕之議員



北広島町障害者福祉計画を問う

差別解消と職員採用に取り組んでいく

問 平成28年4月にスタートした障害者差別解消法は、「共生社会の実現を目指す」となっている。

身体障害者の採用は国

の開催等で虐待の防止、正しい理解と差別解消に取り組んでいく。

本町における障害者の割合と今後の推移は。

現在本町には、身体障害者手帳保持者1226人、療育手帳保持者241人、精神障害者保健福祉手帳保持者211人が在住している。身体障害者は減少傾向にあるが、知的、精神障害者は微増である。

身体障害者の採用は国

の基準2・3%を上回る3・38%である。今後は知的、精神障害者の採用も必要と考える。

指定管理者制度の課題と今後の在り方について

指定管理者に対し指導、助言は行つてある。

答 福祉課長

現在本町には、身体障害者手帳保持者1226人、療育手帳保持者241人、精神障害者保健福祉手帳保持者211人が在住している。身体障害者は減少傾向にあるが、知的、精神障害者は微増である。

身体障害者の採用は国

の開催等で虐待の防止、正しい理解と差別解消に取り組んでいく。

答 福祉課長

現在本町には、身体障害者手帳保持者1226人、療育手帳保持者241人、精神障害者保健福祉手帳保持者211人が在住している。身体障害者は減少傾向にあるが、知的、精神障害者は微増である。

身体障害者の採用は国

の開催等で虐待の防止、正しい理解と差別解消に取り組んでいく。

答 福祉課長

障害者が入居できる施設はあるか、また施設に入れない待機者はいるのか。

答 福祉課長

入居できる施設は、グループホーム2カ所、入居施設1カ所で、現在の待機者は6人である。

答 総務課長

障害者差別解消の啓発や職員採用に対する取り組みは。

答 総務課長

実績をもとに事業計画、収支計画等で判断している。モニタリングレポートは行つてある。

答 総務課長

実績をもとに事業計画、収支計画等で判断している。モニタリングレポートは行つてある。

答 総務課長

モニタリングレポートは行つてないが、第3者からの満足度調査も含め検討していく。



真倉和之議員

中高一貫教育について問う

前向きに検討している

問 千代田中学校に中高一貫教育補助を行なつて、いるが、どんな内容で、どんな効果があるのか問う。

答 教育長 千代田高校、千代田中学校教諭による乗り入れ授業の実施、高校教諭による中学校への面談指導や進路指導、また中高教諭同士での情報交換や研修、クラブの相互指導を行なつてている。

県教育委員会の連携型による中高一貫教育の指定を受けた時のメリットを聞く。



問 連携型中高一貫教育では、中学校と高等学校が教育課程の編成や教員・生徒間の交流等の連携を深める事ができる。6年間を通して学習ができる。町が進める郷土愛が生まれる。高等学校においては入学者選抜を面接、実技等の簡単な方法で行う事ができる。

答 教育長 県教育委員会の連携型による中高一貫教育の指定を受けた時のメリットを聞く。

不登校の背景も以前に増して多様化している。学校における相談体制の充実や保小中の円滑な接続行政・医療機関・地域・保護者と学校が連携強化し、子どもの成長を見守る体制を充実する。児童生徒の不登校を未然に防ぐため、自分の居場所を感じ、自分に自信をもつて安心して学べる環境を整えることが必要と考えている。

問 千代田中学校に中高一貫教育補助を行なつて、いるが、どんな内容で、どんな効果があるのか問う。

答 教育長

問 学校が不登校生徒を出さないようにするためには何が必要か。

答 教育長 子どもたちをとりまく社会環境の変化に伴い、不登校の背景も以前に増して多様化している。学校における相談体制の充実や保小中の円滑な接続行政・医療機関・地域・保護者と学校が連携強化し、子どもの成長を見守る体制を充実する。児童生徒の不登校を未然に防ぐため、自分の居場所を感じ、自分に自信をもつて安心して学べる環境を整えることが必要と考えている。



美濃孝二議員

豊平病院は有床にし医療難民だすな

豊平の医療を将来守るために無床しかない

問 2診体制でも約35人が難しく交通を確保する。「安佐市民病院を退まる施設を確保する」

答 保健課長 週3回くらいで朝・昼の便で通う手段が確保できることを考えている。安佐市民病院は従来の交通での交通手段は。

問 入院できる千代田への交通手段は。

答 副町長 町長が決断した。

問 診察してもらえない人はどうするのか。

答 保健課長 週3回くらいで朝・昼の便で通う手段が確保できることを考えている。安佐市民病院は従来の交通での交通手段は。

答 副町長 町長が決断した。

問 町が決定する前に住民参加の手続を規定する「まちづくり基本条例」を守っていない。これが「協働のまちづくり」か。

答 町長 11会場で説明し回答できるものは回答した。

問 県の医務課長は「安心なしにゼロ（無床）は考えられない」と危惧している。交通も診察体制も未確定で医療難民が出るのではないか。「理解してもらつていらない」のであればもつと話し合うべき。

答 町長 当直もあり対応する。

問 営のため金で運営

水道・値上げ率が不公平

問 庶民に重く企業は軽い。北広島町はフラット化は進み、大口利用者の水は県内2番目に安い。企業にも適切な負担を。

答 上下水道課長 健全な運営のためにも新料金で運営



敷本弘美議員



豊平地域の地域医療構想について

地域医療確保のため無床診療所

問 広島医療圏北部地域における公立・公的病院の機能分化・連携の促進において豊平病院は診療所の方向性と明記されているが、移行の案を提出されたのはいつか。

答 保健課長 有床・無床診療所への移行について検討中の段階。8月時点での町からの案である。

問 県の資料には、回復期19床と明記されており案と書かれてあつたが、説明を求める。

答 保健課長 広島圏域地域医療構想調整会議に提出された資料については、広島医療圏北部地域公立・公的病院連携会議から提出されたもの。北部地域の公立・公的病院である安佐市民病院、JA吉田総合病院、安芸太田病院、北広島町豊平病院の4つの医療機関の再編ネットワークの取り組みについて協議してきたものをとりまとめたものである。病床削減だけを協議してきたもの

ではない。医療機関の中での連携、再編のネットワーク、限られた医療資源を効率的に活用できる病院連携のセーフティネットを構築していくといふことも協議した資料である。この会議、県はオブザーバーとしての参加となっている。

問 3年前町立病院から指定管理の病院となつたが、地域医療存続を考え診療所の案はなかつたのか。

答 町長 3年前常勤医師が1名となり、医師確保ができることから地域医療の存続のため無床診療所への形態転換を考えていた。これまでの「病院完結型医療」でなく「地域連携型医療」により地域医療を確保するための無床診療所への転換であり、将来にわたり医療を提供していくためには、この選択肢しかないと思っている。

濱田芳晴議員



次世代について考える パート26

無床の診療所にします

問 3年前、豊平病院に内科の医師がいない時期、高橋ソバ名人が私に、豊平の長竿地区は、寒い、交通・買い物・医療の便が悪い、自分にもしものことがあつた時、妻は自動車に乗れないと言つて九州に移住された。私も当時、一般質問で内科医の確保を訴えている。その後天野クリニックを迎えて患者も少しずつ増え、町も議会も喜び、新しい機械、手術室を整備して診療科目も増えたが、適正規模をオーバーしたのか、賛成した私も自問自答している。

国保の病院しかない地域で入院ベッドがあり、入院患者も増える中、9月議会で町長は無床の診療所にしたいと、まちまちの公募の中で医療法人明和会に指定管理を任せたいと発表。この時も豊平地区は有床を望んで求めたが自問自答している。

天野クリニックに3年間で結果を求めるには無

3年間で結果を出すには無理もあつたと考えるが、健全化委員会などでも検討した結果、これ以上の判断になつた。

問 無床の診療所計画は償却資産に無理をしない経営力のある民間の考え方で、利益の出る介護中心の考え。議会報告会でも町民から第6期介護事業計画の時から介護職員が不足しているとの意見。団塊世代が80才になる2025年問題、職員の高齢化、若者はなりたがらない現実をどう考えているのか。

答 保健課長 国も対応策を検討中。今回は予定者が職員を確保する計画になつていて、最終日の採決の結果によつてはまだあきらめない。

委員会報告

総務常任委員会

平成30年10月17日～19日にかけて、総務常任委員会で視察研修を行った。大変勉強になることも多くあり、北広島町へ活かしていくければと考えている。

【参加者】

総務常任委員会：中田節雄委員長、服部泰征副委員長、森脇誠悟、亀岡純一、梅尾泰文
町職員：企画課長、議会事務局職員

10月17日(水)

視察先▼大分県豊後大野市清川町
視察内容▼道の駅を中心とした地域支援事業

事業の概要▼清川地区には商店やスーパーが無く、飲食店も少ない。また少子高齢化や人口減少に伴い交通弱者が増加した。そのため道の駅を中心と

して、地域振興や農業振興、見守りサービスを開き、地域の生活を守っている。

①移動販売

生活協同組合と提携し、日用品や食品を販売。また、自治会委員や社会福祉協議会とも連携して、来なかつた常連客への声かけ等も行っている。

②集荷事業

農家で育てた作物を集荷し、道の駅や市外へ届けている。移動販売車で集荷予定であったが載らなかつたので車両を追加購入した。

③何でも屋事業

草刈りや動物の死骸処理、燃料等の運搬等、様々な依頼が増加。集荷事業と併せ3人を雇用し地域支援として取組んでいる。

④農場経営



10月18日(木・AM)

視察先▼大分県大分市役所
視察内容▼協働のまちづくり大賞の創設

事業の概要▼自治会サポートプランを策定し、人材育成や取り組みに対する表彰、行政職員の自治会活動への積極的な参加を奨励している。

①人材育成の支援

住民の地域活動への関心向上と、リーダーの育成や担い手確保の支援を目的とした、「地域コミュニティ創造事業」を展開している。

②加入促進の支援

自治会加入促進パンフレットの作成や配布等。

③活動の場づくりの支援

自治公民館や集会所等への建設補助、市有施設の自衛会活動への開放について検討を行う。

④自治会活動活性化の支援

住み良いまちづくりのための取り組みで優秀なものを表彰する「協働のまちづくり大賞」を創設。事例集として作成し広く周知を図る。

⑤職員の地域活動への参加・支援

全職員に対し、自治会活動への参加を呼びかけている。また「大分市自治会サポート府内連絡会議」を設置し、連絡体制を強化している。

●まとめ

「協働のまちづくり大賞」を受賞した方より、「あなたが参加・あなたが主役を合言葉



10月18日(木・PM)

視察先▼大分県大分県庁
視察内容▼ネットワーク・コミュニケーションの構築

事業の概要▼小規模集落実態調査の結果から、集落機能を維持するためには複数の集落で補い合う形が必要と判断。地域コミュニティ組織が中心となり課題解決に取り組んでいる。

①地域の活力づくり

地域振興、外部人材活用、移住定住対策強化。

②生活環境の整備

生活用水確保、生活関連道路の整備、生活交通手段の確保。

③地域コミュニティの維持

地域の支え合う仕組み、買い物弱者対策、協働のまちづくりの推進。

④鳥獣被害・耕作放棄地対策

集落ぐるみの鳥獣害対策、新規参入による農地利用の促進。

⑤集落間の連携・再編等

小規模集落応援隊の活用促進、ネットワーク・コミュニケーションの推進。

●まとめ

複数集落の地域住民を中心とし、地域コミュニティ組織により、○生活サービス、○高齢者見守り、○コミュニケーション、○農林業・特産品開発などを実施している。設立時と以後3年間は助成制度があるが、補助金額のみでは続かない持続可能な事業活動の展開が重要とのことであった。



委員会報告

文教厚生常任委員会

平成30年8月21日～22日にかけて、文教厚生常任委員会でごみリサイクルについて先進地に視察研修を行った。今後学んだことを、北広島町への取り組みに繋げていきたい。

【参加者】

文教厚生常任委員会…大林正行委員長、山形しのぶ副委員長、敷本弘美、伊藤淳

8月21日(火)

視察

先▼香川県善通寺市

視察内容▼資源リサイクルシステム

事業の概要▼平成12年4月から建設費26億円かけ、未

来クルパーク21のごみリサイクル事業を開始。「燃えるごみも活かせば資源」の考え方から、9種22分類に家庭で分別してもらい、市が選別するようになつた。

①地域へ説明

ごみリサイクルについての理解を得るために、当時の市長の強いリーダーシップのもと、地域ごとに説明に行つた。現在も前市長や早朝職員が収集場所に行つてている。

②環境推進連合会立ち上げ

ごみの出し方を組織ごとに指導。しかし、年々加入者が減少しているという課題もある。

③ふれあい戸別収集

平成23年5月から戸別収集を開始。対象は65歳以上、要支援者、要介護者、障害者の方。現在は65件が対象。年々増えている現状があつた。燃えるごみの回収はシルバーに委託。

④小型家電は回収ボックスへ定期的に回収している。現在



北広島町でも5カ所に小型家電回収ボックスを設置している。

●まとめ

家庭でリサイクルする親の姿から、子ども達が物を大切に思う気持ちや、環境美化の意識を築くことができた。「善通寺市ではごみと言いません。資源と言います。」この言葉に意志の強さを感じた。

8月22日(水)

視察

先▼徳島県上勝町ごみステーション

視察内容▼ごみリサイクル事業

事業の概要▼平成15年に上勝町議会が「ごみゼロ宣言」を可決し、平成17年にNPO法人ゼロ・ウエイストアカデミーが発足。ごみステーションひだまりで現在は13品目45分別している。

①ボイラード導入

ボイラーは2基使用。購入費は7700万円。総事業費は1億3500万円。ボイラーはつけたり消したりするよりも効率がいいため、24時間稼働している。冬は暖房としても使用している。

②ボイラード導入

ボイラーは2基使用。購入費は7700万円。総事業費は1億3500万円。ボイラーはつけたり消したりするよりも効率がいいため、24時間稼働している。冬は暖房としても使用している。

③灰の活用

灰は無料で町民に配布している。業者には有料で渡し、藍染めに使うこともある。今後は備前焼に使われることも検討されている。



●まとめ

担当者からの「上勝だけが取り組んでもためなんですよ」という言葉に、議員も気持ちが引きしまつた。学びの大きい視察研修を終えることができた。



るが、効率的であると感じた。昔は林業が多かつたが、現在は専業2社となり、後継者不足とのこと。過疎化が進む地域の課題はどこも同じだと感じた。

8月22日(水)

視察

先▼徳島県上勝町ごみステーション

視察内容▼ごみリサイクル事業

事業の概要▼平成15年に上勝町議会が「ごみゼロ宣言」を可決し、平成17年にNPO法人ゼロ・ウエイストアカデミーが発足。ごみステーションひだまりで現在は13品目45分別している。

①ごみゼロ宣言

「ごみゼロ宣言」後、平成17年にNPO法人ゼロ・ウエイストアカデミー発足。日本だけでなく世界中に仲間を増やしていく活動が評価され、平成28年に環境大臣賞を受賞した。

②町民の意識向上

日比谷ごみステーションでは分別ごとに何にリサイクルされるか（有価資源になるもの、処理にお金がかかるもの）が表示されており、分かり易く意識向上へ繋がる提示がされていた。

③分別することで町の財政へ

分別しないと処理費が1600万円かかる。平成28年の処理費は570万円。有価資源は250万円。320万円が町の財政へ。

④リユースショップ

無料のリユースショップがあり、年間13トンが持ち込まれ、11トンが持ち帰られている。不要になつた布や鯉のぼりを使い、小物や洋服を作り販売している。

●まとめ

担当者からの「上勝だけが取り組んでもためなんですよ」という言葉に、議員も気持ちが引きしまつた。学びの大きい視察研修を終えることができた。

委員会報告

産業建設常任委員会



農事組合法人ヒューマンライフ土佐(高知県越知町今成)
設立:平成2年1月 当初70戸からスタート
組合員数:418人(組合員153人、生産組合員265人)
事業内容:越知町を中心に薬物作物の栽培面積を拡大。
町の主要作物へと成長。
生産品目:生薬(ミシマサイコ・サンショウ・キジツ「ダイダイ」等)
栽培面積:平成29年度 141ha(県内外合算)
売上高:平成29年度 3億円強
納入先:株式会社 ツムラ

平成30年10月16日～18日にかけて、産業建設常任委員会にて高知県越知町と高知県庁を視察研修

【参加者】

産業建設常任委員会…宮本裕之委員長、湊俊文

副委員長、濱田芳晴、美濃孝一

町職員…議会事務局職員

10月16日(火)

視察先▼高知県越知町役場・農事組合法人

ヒューマンライフ土佐

視察内容▼薬草栽培の取り組み

この度の視察は薬草栽培で事業化している高知県越知町とした。越知町に入つて目にとまるのが仁淀川の透明度の高いブルー。素晴らしい仁淀ブルーだつた。越知町と旧芸北町とは現在も交流が続

この度の視察は薬草栽培で事業化している高知県越知町とした。越知町に入つて目にとまるのが仁淀川の透明度の高いブルー。素晴らしい仁淀ブルーだつた。越知町と旧芸北町とは現在も交流が続

10月17日(水)

視察先▼高知県庁

視察内容▼高知県産業振興計画における取り組み

計画推進課 津口チーフ

地産外商でできるモノを増やし、活力ある県外市場に打つて出ることが必要。なす、ミョウガ、ゆず、ショウガ、ニラ、文旦は日本一の農産物生産品。農業生産額は1ha当たり約650万円で日本一である。

Wi-Fiは県内全域整備。「志国高知幕末維新博」

いているそうだ。

越知町は漢方薬で有名な株式会社ツムラとの人間関係で、平成20年「土佐ツムラの森」が高知県の協働の森づくり事業の一環として森林再生事業を開始された。その牽引役が農事組合法人ヒューマンライフ土佐である。

越知町産業課の先導で組合法人事務所において、ヒューマンライフ土佐の社員から薬草栽培の事業化の経緯と難しさ等について座学を受けた。その後、自ら生薬を栽培されている越知町議会の寺村議長の案内でヒューマンライフ土佐の作業所を訪れ、生薬のミシマサイコ、サンショウ、キジツ(だいだい)の選果状況や倉庫内を視察した。

●まとめ

ツムラとの人脈の繋がりがあり、そのツムラが出售取引先であることが事業のスタートであり、成功の源である。

薬草栽培が北広島町で事業展開ができるのか、収益が上がるのかは不透明である。また取引先や販路が確保でき経営が成り立つか、現状では不透明感が大きい。当町としては山菜を6次産業化してみてはどうか。

南海トラフ地震に備えた防災グッズの販売。製品は浄水器、観測機、ボート、シェルター、ゴンドラ等64種がある。

●まとめ

高知県産業振興計画は、尾崎知事が自らの強力なリーダーシップで推進している。

高知県産業振興計画は、尾崎知事が自らの強力なリーダーシップで推進している。

地域農業推進課 西村課長

農林漁業の新規就農の担い手は平成22年197人、平成28年276人で県外から増加。集落営農は飽和状態である。

地域農業推進課 中川課長補佐

高知県を東部、中部、西部に分けて、地域に適した農産物の振興を目指す。県内各自治体に新規就農者が定住している。

高知県産業振興センター ものづくり地産地消・外商センター 宮地課長

南海トラフ地震に備えた防災グッズの販売。製品

は浄水器、観測機、ボート、シェルター、ゴンド

●まとめ

と題して、明治維新150年、坂本龍馬記念館の新設で観光客が増加。ひろめ市場は超人気の飲食市場である。



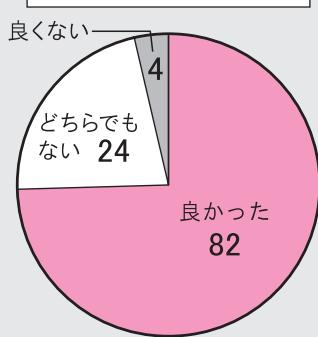
議会報告会

初めての議会報告会

議員は、町民から選挙で選ばれます。町民の意見や要望を聞き、それらの実現に向けて動かなければなりません。そしてその進捗状況などを返さなければなりません。

北広島町議会は、2015年3月に議会基本条例を制定しました。町民に信頼され開かれた議会運営を決意し、条例は16条からなっています。今回行つた議会報告会は、町民に議会の役割の理解を得ることや意見交換会を行い、より身近な議会になることが大きな目的のひとつです。多くの方から意見やアンケートをいただきました。今後に活かしてまいります。ありがとうございました。

議会報告会について



千代田（八重総合センター）

10月13日(土)13時半～ 参加者22人

問 町民への伝達の在り方、広報誌で

今の地域の状況を流してもらいたい。

農道が狭い水路の整備。交付金を自由に使つていけるよう。移動購買車を地域に導入する考えはないか。

答 園場整備を伴わないと大規模なものはできない。水稻部門の所は国はやつても良いと言つてはいるが地元の負担金、法人の代表で借金を払うのか？県は難しい。12月議会で審議採決のため、広報誌ではお知らせ出来ない。

問 豊平病院の経営の担当はどこか。

答 指定管理は、医療法人齊和會。町から指定管理料を払つてはいる。

現在はベッド数44に対して看護師22名、ただし、今までベッドのある

アンケート意見

- ・住み良い町づくりに対しても具体的に行うのか。病院、例えば皮膚科・耳鼻科など誘致していただきたい。
- ・議員の一般質問に対し、行政の批判的な発言は控えて欲しい。協力的な発言を求める。

豊平（豊平公民館）

10月24日(水)19時～ 参加者73人

問 豊平病院について町の方でどうい

う提案があり、どういう話がされてい

るか。

答 議案については議会本会議だが、8月24日全員協議会があり、診療所に変更する方向で複数打診している。本会議、9月25日全員協議会の中で複数の医療機関から提案。その中の一つが無床で提案。町としては無床。

問 町民がお願いをして病院をなくそ

うと提案があつたのか。一方的な町長

の思いなのか。町長が提案されたのか。

答 そうですね。議員が聞いたのは9月の全員協議会です。指定管理料無料の

アンケート意見

- ・資料が見えにくかった。
- ・多くの町民が参加出来るよう、もう少し小さな単位での開催をされた方がいいのでは。

問 月議会で審議採決し動きがでてくる。

問 多面的とあつたが、道路法面につい

て町の管理で草刈りをしてもらえないか。

問 議会で検討になつてはいるが、元気な方まで刈つてくれと言うようになる。

ボランティアに近い考え方で刈つていかないといけない。

問 多面的とあつたが、道路法面につい

て町の管理で草刈りをしてもらえないか。

問 豊平病院問題が大きな焦点である。少し嫌がらせのように感じた。

- ・ふるさと納税を工夫してほしい。
- ・少子高齢化が続く中、豊平地区は住民約3400名。昨年より110名減。町全体で300名減である。10年すると3000名減となる。長期総合計画でこの対策が急務であるが、具体的に計画・実施がみえない。
- ・豊平病院については豊平の医療を担つています。ぜひ、病院を継続していただきたい。
- ・議員のみなさんで意見を出し合つて、病院の赤字に対しての改善策を出し合つて町民一体となつて赤字を減ら

・意見を出しにくいのでワールドカブエ等にして欲しい。

・説明が専門用語を使われ、わかりにくく点があった。

・雑草との戦いからの脱却、まさに直面している重要課題（不在地主の田んぼ）でした。どんなささいなことでも情報をいただければと思います。

・千代田地域は、公民館や本庁での開催がみなさん参加しやすいのでは。

・報告会の資料はとてもわかりやすいものだつたので、ホームページに掲載されればよいのでは。

・研修・視察後の報告はよかつたと思う。これからも勉強され、町民のために頑張つて下さい。

説明は受けていた。無料はどこまでか議会の方では把握していない。12月になつてさらなる詳細はでてくる。

し、全国でも参考になることをやつしていただきたい。

・豊平病院の件がもつと聞きたかった。(同様の意見が多数)

芸北（芸北文化センター）

10月31日(水)19時～ 参加者30人

問 公共施設3割削減の基本的な考え方を聞いた。利用率の低いところを削減することになると芸北周辺はますます不便になる。利用率の高いところは人口の多い千代田に集中している。議会としての考え方はどうか。

答 行政が打ち出した方針だが、議会は結論を出していない。千代田も地区によつては高齢化している。町全体の問題として捉えている。

問 町長は新年互礼会で「先行きが暗い」と言った。財政などで先行きの明るい話はないのか。町は木を売つても資金を作つて起爆剤にして観光に活かすなど、議員も建設的な提案はできないだろうか。

答 観光業や木材有効利用を、各議員がそれぞれ提案している。皆さんの意見を聞き、行政に訴えていく。

問 火葬場は芸北と豊平の2箇所はそのまま存続してほしい。

答 火葬場を一つにしようとしたが、現状のまま維持する。ただし、修理ができる限りはある。

問 てごてごの内容を初めて知った。中学生は対象か。例えば、通学バスや学力向上などの意見はさつきが丘こども園で言えるのか。

答 てごてごは18歳まで支える。現在は、意見の種類によつて相談場所が違う。今後は同じ窓口で受け付けられるよう文教厚生常任委員会で話し合っている。

アンケート意見

・意見を述べることができてよかつた。他の人の意見も参考になつた。

・今後も開催を希望する。

・基本条例そのものが欲しいと思つた。

・若い人の参加が少なかつたので、もつとこれから時代を担う若い人の意見が聞きたかった。

・このような会はどんどん広げていって、皆の意見に耳を傾けることが大事と気づく町民となり、また行政・議員となるよう自己研鑽をすることが必要だと思う。

・良い会だと思う。「やり方」が変われば前向きな話になると思う。議会へのQ&Aは「カフェ方式」でやつてみたいと思った。

・個別の不満を言う場にしてはいけない。質問時間を決めてみては?

・明るい郷土を作り、夢のある芸北作りに今後もご尽力いただきたい。

・もう少し議員自身が責任・自覚を持つて回答してほしい。

・町の良さを見つけ、活かす政策を質問してほしい。

・議員としては本音が出しそうな場ではあるが・・・もう少し本音を言わないと前には進まないと考えます。

・議員の情報発信をもつとしてほしい。

・議会よりを読むより分かりやすい。

・時間は十分だったと感じた。託児があれば子育て世代も参加しやすい。

・想像以上に活発な意見交換でよかつた。挙手制は知り合いも多いので、手を上げづらい。

・議員の活動を今までよく知らなかつたので、よい機会だつた。

・大変かと思うが、年に1回ではなく複数回してほしい。

大朝（大朝保健センター）

11月9日(金)19時～ 参加者32人

陽光発電に取り組んでいる。だが、議会としてはまだ話し合っていない。

問 豊平病院が介護施設になると報道された。「やすらぎ」では現在も介護職員が足りていない。このような状況を研究しているのか。同じ状況に保育士も足りていない状況がある。

答 豊平病院については現在議会で話し合っている状態である。介護施設の実態が大変であることは把握している。保育士も同様である。議会全体としてなんとかすべきと考えている。

問 保育所の民営化について、町立保育所で働く職員はどうなるのか。庁舎に戻るのか、民間で働くのか。

答 難しい問題であり、議会でも重要視している。現在のところ、給与の差や現場の転轢についても考えるべき面がある。町は民営化を進めているが、議員全員が認めたものではない。

問 町政懇談会では「担い手大学」のことが提案された。企画自体が薄っぺらいものに感じた。

答 議会でもあまり具体的には示されていない。

・大朝地域は、大朝・新庄2か所開催を考えてほしい。

・他人事のように見ている自分に気づいた。私は身近なものを見てじゃないと、活動できないので、議員は広い視野で活動していると改めて思った。

・移住者です。移住してできた友人は「嫁に行け、嫁を貰え」農業の後を継げと人生に対する物言いをされている

ようですが、過去に議員にも言われたことがあります。気持ちは分かるが、何度も言わると疲れる。今の時代、選択肢は人それぞれ。男女平等で、かつ10代20代子どもから大人まで尊重し合える社会になることを強く望みます。色々な世代の興味をそそる取り組みがある北広島町になれるように、私も発信していく。

・議員の活動を今までよく知らなかつたので、よい機会だつた。

・大変かと思うが、年に1回ではなく複数回してほしい。



※当日の意見交換やアンケート内容は、集約と一部抜粋しています。

※行政や議会への要望・質問の回答は、次号に予定しています。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書

厚生労働省は医療従事者の勤務環境の改善のための取り組みを促進してきた。しかし、医療・介護現場では依然深刻な人手不足となっており、国においては、看護師など医療従事者の確保を進めていく必要がある。併せて介護従事者の確保・定着などを促進し、住民本位の「地域包括ケア」の実現を図ることが切実に求められている。

については、安全・安心の医療・介護を実現するために、医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働の改善と大幅増員を図る対策を講じられるよう、次の事項について国に要望するものである。

2 医師・看護師・医療技術職・介護職などの夜勤交替制労働における労働環境を改善すること。

- (1) 1日8時間以内を基本に、労働時間の上限規制や勤務間のインターバル確保、夜勤回数の制限など、労働環境改善のための規制を設けること。
- (2) 夜勤交替制労働者の労働時間を短縮すること。
- (3) 介護施設などにおける1人夜勤を早期に解消すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月19日

広島県北広島町議会

記
1 安全・安心の医療・介護を実現するため 医師・看護師・医療技術職・介護職を増員すること。

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣
財務大臣 文部科学大臣
総務大臣

岩国基地所属米軍機の墜落事故の原因究明と再発防止策が講じられるまで同型機の飛行停止を求める意見書

12月6日未明、米海兵隊岩国基地に所属するF/A-18戦闘攻撃機とKC-130空中給油機が、高知県沖約100キロの上空で接触し、海上に墜落した。11月には、米軍岩国基地所属のF/A-18戦闘攻撃機が沖縄本島の沖合でエンジントラブルにより墜落したばかりである。この他にも6月には米軍嘉手納基地のF-15戦闘機が那覇市の沖合の海上に墜落している。このように日本の周辺では在日米軍機の事故が相次いでいる。

岩国基地所属の米軍機は日常的に北広島町上空の訓練空域「エリア567」で低空飛行等の訓練を行つており、「も

提出先

内閣総理大臣 外務大臣

防衛大臣

広島県北広島町議会

補欠選挙の有無について



しかも私たちの上空で起きたら」と大きな不安や恐怖感を住民は抱いている。今回の墜落事故の原因を一刻も早く明瞭化にするとともに、再発防止策が講じられるまで同型機の飛行停止を米軍に強く求めるよう要請する。

以上の、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成30年12月19日

表紙の写真

この写真は、平成30年2月に、豊平地域で撮影したものであります。桃栗3年柿8年と言われています。柿の木を植えて花が咲き、実が成るまでのことを言われているのでしょうか。この柿の木は、植えてから約60年ほどたっています。

たくさんのが実をつけた柿は、寂しそうに雪帽子をかぶっています。私達が子どもの頃は食べ物が不自由な時代で、このように実を付けたままの柿の木は珍しかったものです。

あとがき

四季折々に美しい私たちの郷土。時には、厳しい自然にも立ち向かいながら、日々の生活を営々とつないでいた先人のご勞苦の土台の上に、今を生きる私たちがいます。日本は、建国以来、長い歴史のなかで幾多の困難を乗り越えてきました。

今年、元号が変わった新しい時代を迎えて、私たちは未来の子どもたちに何を残していくべきか。議会広報特別委員会も、町の未来を切り拓く新たな決意で、わかりやすく、町民の皆様に親しくして、ご苦労様と言つてあげたくなります。

議会広報特別委員会も、町の未来を切り拓く新たな決意で、わかりやすく、町民の皆様に親しくして、ご苦労様と言つてあげたくなります。

わいのりややすく、町民の皆様に親しくして、ご苦労様と言つてあげたくなります。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

【発行責任者】

議会広報特別委員会

副議長 濱田 芳晴

委員長 龍岡 純一

副委員長 伊藤 淳

委員 敷本 弘美

委員 山形しのぶ

委員 室坂 光治

委員 泰征 淳

※補欠選挙は、欠員が定数の6分の1を超えた場合、執行(公職選舉法第113条第1項第6号)